



ほけんだより 号外



令和8年7月15日

泉ヶ丘こども園

あんだんて泉ヶ丘

梅雨に入り蒸し暑い日が続いています。この時期は高温多湿の環境で活発になるウイルスが引き起こす感染症が流行します。今回は、こどもがかかりやすい感染症(夏風邪)について紹介したいと思います。

ヘルパンギーナ

コクサッキーウイルスの感染による夏かぜの1つ。

<症状>

- ・39℃を超える高い熱が2~4日続く。
- ・喉の奥が赤く腫れて発疹や水疱ができる。
- ・下痢や嘔吐のお腹の症状を起こすこともある。

<登園の目安>

発熱や口の中の発疹や痛みが治まり、普段と同じ食事が摂れること。



手足口病

コクサッキーウイルス、エンテロウイルスによる感染症。初夏から初秋にかけて流行。感染力が強く、免疫がつかないので、以前かかったことがあっても再び感染することもあります。

<症状>

- ・手のひらや足の裏、口の中などに痛みを伴う水疱ができる。
- ・熱を伴う(発熱しないこともある)。
- ・まれに下痢や嘔吐を伴う。

<登園の目安>

発熱や口の中の発疹や痛みが治まり、普段の食事が摂れること。



プール熱(咽頭結膜熱)

アデノウイルスによる感染症。プールでの感染が多かったため、この名前が付きました。感染力が強いので、タオルや浴槽の湯を介してもうつります。治るまではタオルの共有は避けましょう。

<症状>

- ・高い熱が4~5日続く。
- ・のどの痛みや咳。
- ・目の充血や目やになど、結膜炎の症状。
- ・腹痛や下痢、吐き気、頭痛を伴うことも。

<登園の目安>

発熱や目の症状が治まってから2日経過していること。また、全身状態がよく、普段と同じ食事が摂れること。



流行性角結膜炎(はやり目)

アデノウイルスの感染によって起こる結膜炎です。感染力が非常に強く、はやり目の人が目を触った手で物を触り、他の人がそれに触って目をこするなどすると、高い確率で感染します。タオルなどを介しても感染します。

<症状>

- ・白目(結膜)の充血。
- ・目やにがたくさん出る(ひどいと目が開かないほど)。
- ・涙目。
- ・(黒目に傷がつくと)しょぼしょぼ感、異物感、光がまぶしいなどの症状が起こる。

<登園の目安>

結膜炎の症状が完全になくなるまで。

上記のような症状が見られた際には医師の診察を受けて下さい。また、診断を受けた際は園まで連絡をお願いします。

こども園で4月~6月の間に報告された感染症は、感染性胃腸炎・アデノウイルス感染症・ヒトメタニューモウイルス感染症・溶連菌感染症・伝染性膿痂疹(とびひ)・突発性発疹・流行性耳下腺炎(おたふく)です。夏は遠出や外出をしたりと人と接する機会が増える方も多いかと思います。外出の際には感染予防を心掛けましょう。